

山形県立博物館収蔵資料の動物分類群ラベル作成と更新作業

羽角 正人*

Creation and renewal work on the taxa labels of animal specimens and materials deposited in the Yamagata Prefectural Museum, Japan

HASUMI, Masato

1 初めに

動物分類群ラベルには、様々な作成方法がある(e.g. 柿添・丸山 2021, 丸山 2014)。著者が本館動物部門の前専門学芸員と相談して作成した動物資料の分類群ラベルは、全部で 21 項目から成っている(羽角 2022a)。このラベルは、博物館の来館者へ見せるためのものではなく、当館の職員や資料を調査したい研究者が、資料を見ただけで必要最小限の詳細情報を瞬時に得るためのものである。一般的に博物館の動物分類群ラベルは情報量が少なく「せっかくラベルを新しくするのだから、情報量を増やそう」という目論見で考案したも

のである。学名などの情報が古くて役に立たない、過去の同定結果を示す従来のラベルと交換するのではなく、従来のラベルの裏側に入れ込むことで、最新の情報と比較する意味もある。

2 材料と方法

表 1 に、動物分類群ラベルの作成に必要な器材と資材を示す。用紙サイズ A4 の特厚ロカラーペーパーを使用し、横 1 ページ(297×210 mm)に 4 つの分類群ラベルが配置された PDF ファイル(羽角 2022a)を印刷した(全部で 10,256 ページ)。

表 1. 動物分類群ラベルの作成に必要な器材と資材(予算に応じて必要な単位を発注する)

品名	規格	物品番号/商品コード	価格(1 単位)
トナーカートリッジ	527 (リサイクル): 印字枚数 15,000 枚 ^a	350-8298 (896 p.) ^b	2 個パック 1 個当たり ¥7,717 (税抜き) / ¥8,488 (税込)
カラーペーパー	イエロー特厚口 A4 ^c	292-8411 (835 p.) ^b	1 セット 250 枚 3 冊入 ¥3,108 (税抜き) / ¥3,418 (税込)
裁断機	Uchida 180L 型	1-008-001540 枝番 ^d	不明
チャック袋	アスクルオリジナル(段ズレ仕様): 0.04 mm 厚 A8 (チャック下 85 mm; 袋巾 60 mm)	947-7054 (448 p.) ^b	1 セット(3,000 枚: 300 枚入 10 袋) ¥2,490 (税抜き) / ¥2,739 (税込)
レーザーパンチ	No.650: パンチ穴径 6 段階(2.0, 2.5, 3.0, 3.5, 4.0, & 4.5 mm)	171233 ^e	¥1,027 (税抜き) / ¥1,129 (税込) ^f
テグス	TORAY 道糸(ハリス)「銀鱗」4.0 号 50 m(標準直径 0.330 m/m)	112368 ^e	¥300 (税抜き) / ¥330 (税込) ^g
お徳用タコ糸(中太)	太さ 1 mm, 長さ 360 m	818-499 (332 p.) ^h	1 束 ¥922 (税抜き) / ¥1,014 (税込)

^a学芸課にあるプリンタ(Canon LBP 8610)を使用する場合^bASKUL カタログ(2021–2022)掲載品^c本当は黄色みの強いクリーム色が欲しかったのだが、注文可能なカタログ掲載品にはクリーム色とイエローの中間色がなく「前専門学芸員の要望を叶えるには、イエローを選ばざるを得なかった」という経緯がある(彼の要望がなければ、クリーム色を選んでいる)。いずれにしても、昆虫標本の採集情報を示すデータラベルとの区別が付けば、何色でも良いことになっている(柿添・丸山 2021)^d山形県備品標示票^e藤原産業株式会社(兵庫県三木市)^fホームセンターヤマケン(山形県山形市)^g熊人 Yahoo!店(57% OFF)^h山形教育用品(Smartschool)カタログ(2021–2022)掲載品

1 枚の特厚口カラーペーパー(イエロー)にレーザープリンタで印刷した、動物分類群ラベル 4 つを裁断機で均等に四つ切りにする(1 回の裁断で、20 枚弱ほど切れる)。まず、左右 148.5 mm ずつ、半分の大きさに切る。更に、上下 105 mm ずつ半分の大きさに切ると、1 枚から 4 つの分類群ラベルが取れる。これらのラベルを登録番号順に並べて、整理しておく(図 1)。

登録番号	YAMA3Av003074
目名(学名)	Passeriformes
目名(日本語)	スズメ目
科名(学名)	Cettiidae
科名(日本語)	ウグイス科
過去の同定結果	Urosphena squameiceps (Swinhoe, 1863)
学名	Urosphena squameiceps (Swinhoe, 1863)
和名	ヤブツメ
属	Eboshi-jima Island
島(日本語)	高帽子島
国	Japan
国(日本語)	日本
都道府県	Fukuoka Prefecture
都道府県(日本語)	福岡県
市区町村	Itoshima-shi
市区町村(日本語)	糸島市
詳細地名	Shima-keya (Eboshi-shima-todai Lighthouse)
詳細地名(日本語)	志摩弁屋(高帽子島灯台)
個体数	1 Male
採集年月日	19600427
備考(旧登録番号)	3992126
	山形県立博物館

図 1. 資料を見ただけで必要最小限の詳細事項が分かるように 21 項目を記述した分類群ラベルの例

分類群ラベルを封入するためのチャック袋に、タコ糸を通す穴を開ける。穴を開ける方法は様々あるが、機能性や利便性、扱いやすさなどを考慮し、レーザーパンチを使用することに決めた。レーザーパンチのパンチ穴径(6 段階)を検討の結果、チャックとじしろの端から 7~8 mm の位置を 4.0 mm の穴径で開けるのがベストと判断した。また、ポリエチレンなどの柔らかい物や薄い物に穴を開ける場合、金属製の座の部分に厚さ 1 mm ほどの厚紙を敷き、ポリエチレンと一緒に 1 個ずつ抜き出す方法がベストで、この方法だと時間を要するが、着実に、また綺麗に穴を開けることが出来た(4.0 mm 穴径を使用する場合、長さ 200 mm、幅 30 mm で厚紙を作成すると、100 回のパンチでも、スペースに余裕を持って開けられる)。このとき「100 回のパンチごとに、カス取りキャップを外して中のカスを捨てる」という作業を繰り返した。パンチ刃の表に出ている、長さ 12 mm の穴開け部分に圧縮されて溜まった、ポリエチレンと厚紙は、針の長さ 25 mm の「プッシュピン針長タイプ」で押し出すと良い(図 2)。

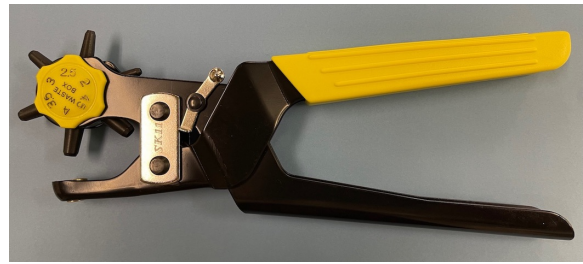


図 2. パンチ穴径が 6 段階(i.e. 2.0 mm, 2.5 mm, 3.0 mm, 3.5 mm, 4.0 mm, and 4.5 mm)で調節可能なレーザーパンチの例

山折りで四つ折りにした動物分類群ラベルを 4.0 mm 径の穴を開けたチャック袋に密閉・封入し、これを登録番号順に揃えておく(チャック袋を開ける場合、開封口に高低差のある「段ズレ仕様」を選択すると開けやすい。チャック袋を密閉する場合、溝のあるほうを上側にすると閉じやすい)。登録番号順に揃える方法として、テグスの両端に細工を施す。テグスの片方をヘアピン(bobby pin)のカーブ部分に、もう片方をダブルクリップの閉じたレバーのカーブ部分に、それぞれ、テグスを結ぶのに最適とされる「クリンチノット(Clinch Knot)」で外れないように結び、チャック袋の穴にテグスの付いたヘアピンの先端部分を通して行く。テグスの長さは、後述のタコ糸を通す過程や、その後の作業を考慮すると、1 m が望ましい(図 3)。

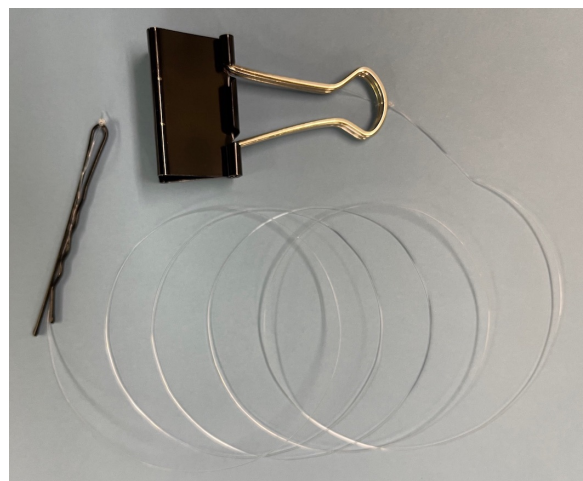


図 3. 分類群ラベルのパンチ穴に通すための作業用テグス(1 m)の仕様例

チャック袋に封入した分類群ラベルが 100 個ほど溜まったら、テグスの両端を外してクリンチノットで外れないように結び、これらを一まとめにしておく。お

菓子のスチール缶(長さ 210 mm, 幅 80 mm, 高さ 90~120 mm)などを使用すると、まとめやすい(図4)。



図4. 分類群ラベルを100個単位でまとめるための直方体のスチール缶の例

お徳用タコ糸(中太)は4束(1,440 m)あり、ここから、分類群ラベル入れ込み用の長さ 20 cm のタコ糸 7,000 本超を切り分けた。タコ糸の束は、くくっている極細の糸を目安に慎重に開いて行くと、ドーナツ状の束になる(8の字状になった場合、どこかで捻れていることになるので、一回りごとに糸の捻れを解いて行く作業が必要になる)。このドーナツ状態を崩さずに、くくっている極細の糸を切断し、タコ糸の両端から糸をほぐして行く。このとき、両端の糸は外側と内側にあるので、外側の糸を回しながら解いて行く。内側の糸を解いて行くと、ドーナツ状の束が内側から崩れて行き、絡まる可能性が高まる。外側の糸も、半分を過ぎると微妙な絡まりが出てくるので、注意が必要(図5)。

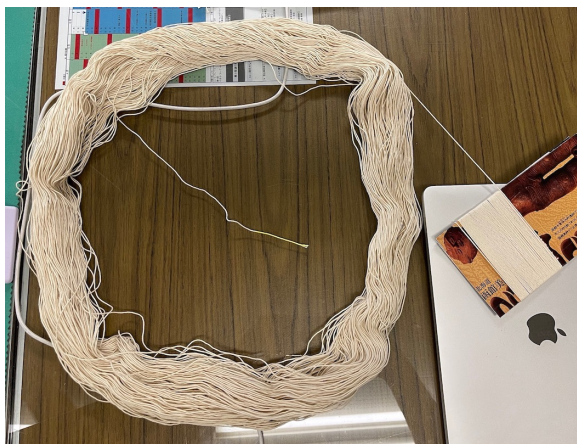


図5. 束状のタコ糸を外側からほぐして巻いて行く参考例

ほぐしたタコ糸が、ある程度まとまったところで、1本の長い糸を幾重にも折り返し、折り返した箇所をハ

サミで一挙に切断することで 20 cm の糸を作ると、効率が良いように見える。ところが、糸は、長くなるとほぐした先で何ヶ所も絡まってしまふ。この絡まりを解くのに時間が掛かっているのは本末転倒なので、他の効率的な方法を考えた。

まず、2辺の長さ 10 cm の三角柱を厚紙で作る。高さは任意で良い(20 cm くらいで作ると、扱いやすい)。このとき、残りの1辺を 3.5 cm 前後で作し、真ん中を内側に折り込む。これに、ほぐしたタコ糸を巻きつけて行き、ある程度まとまったところで、折り込んだ窪みを生かしてハサミで切ると、約 20 cm の糸が出来上がる。この方法は、一見すると非効率的に見えるが、絡まった糸を解く、ストレスフルで無駄な時間を考えると、ベストな選択であると断言できる(図6)。

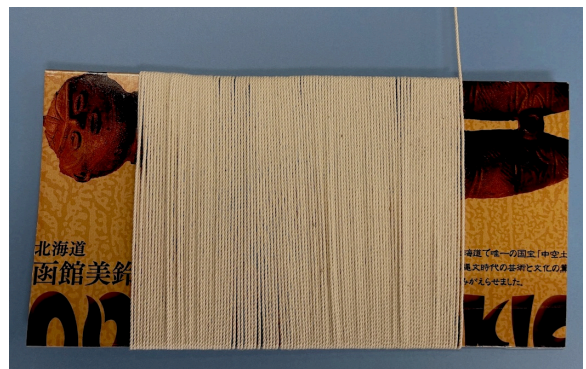


図6. 上部に窪みのある厚紙に巻いたタコ糸の例(窪みを利用して 20 cm ごとに切断可能)

4.0 mm 径の穴にテグスを通して 100 個を一まとめにしたチャック袋の穴に、テグスを通した状態で、テグスに引っ掛からないようにして、20 cm のタコ糸(太さ 1 mm)を半分に折って出来たループを通す。そのループに糸の両端を入れ、チャックの開封口を避けて、横側を縛って行く。このとき、100 個単位の連番の大きいほうの番号の近くに、クリンチノットで外れないように結んだ「だま」を持って行く(この「だま」は、4.0 mm 径の穴を通らないように、大きめに作る)。若いほうの番号から順にタコ糸を通して行くと、スムーズに作業が進む(図7)。

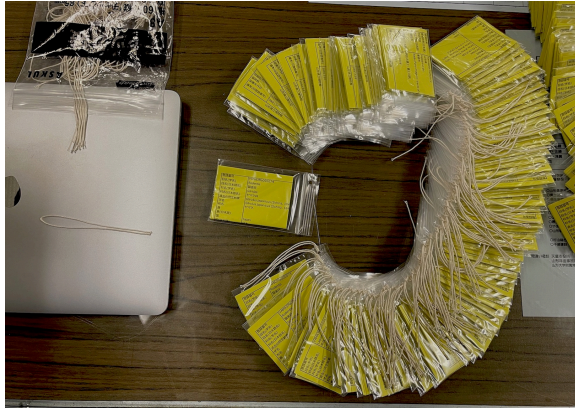


図7.パンチ穴にタコ糸を通した状態の分類群ラベル(100個単位)の例

表2.動物資料DBチェック用シートの例

1/ | 新登録番号 | 旧登録番号 | 和名/過去の同定結果 | 国 | 都道府県 | 郡・市区町村 | 個体数 | 標本状態 | 収蔵場所 |

YAMA3M0000026	3112893	ヒメケハダヒザラガイ/Acanthochitona rubrolineata (Lischke, 1873)	北海道	新ひだか町	2	良好	学術室A06
YAMA3M0000027	3112894	ケシダヒザラガイ/Acanthochitona defilippi (Tapparone-Canefi, 1874)	神奈川県	東山町	11	良好	学術室A06
YAMA3M0000028	3112895	ニシキヒザラガイ/Onitochiton hirasei Pilsbry, 1901	東京都	大島町	6	良好	学術室A06
YAMA3M0000029	3112896	ヒザラガイ/Acanthopleura japonica (Lischke, 1873)	千葉県	鴨川市	17	良好	学術室A06
YAMA3M0000030	3112897	クサリガイ/Rhyssoplax kurodai (Taki & Taki, 1929)	千葉県	鴨川市	7	良好	学術室A06
YAMA3M0000031	3112898	オオハシヒザラガイ/Cryptochiton stelleri (Middendorff, 1846)	北海道		1	良好	学術室A06
YAMA3M0000032	3112899	ケムシヒザラガイ/Cryptoplax japonica Pilsbry, 1901	千葉県	鴨川市	3	良好	学術室A06
YAMA3M0000033	3112900	ゼツケヒザラガイ/Schizophlex brandtii (Middendorff, 1847)	北海道	新ひだか町	6	良好	学術室A06
YAMA3M0000034	3112901	アオシシヒザラガイ/Onicella undocaeerulea Sirenko, 1973	北海道	新ひだか町	2	良好	学術室A06
YAMA3M0000035	3112902	アカヤシヒザラガイ/Lepidozona amabilis (Berry, 1917)	北海道	新ひだか町	2	良好	学術室A06
YAMA3M0000036	3112903	ヤスヒヒザラガイ/Lepidozona coreanica (Reeve, 1847)	和歌山県	美浜町	3	良好	学術室A06
YAMA3M0000037	3112904	ホソヒヒザラガイ/Ischnochiton boninensis Bergenhayn, 1933	千葉県	鴨川市	4	良好	学術室A06
YAMA3M0000038	3112905	ハダヒザラガイ/Ischnochiton hakodadensis Pilsbry, 1901	北海道	新ひだか町	3	良好	学術室A06
YAMA3M0000039	3112906	フシヒザラガイ/Ischnochiton comptus (Gould, 1859)	神奈川県	藤沢市	17	良好	学術室A06
YAMA3M0000040	3112907	ナガヒザラガイ/Mopalia middendorffi (Schrenck, 1861)	北海道	新ひだか町	2	良好	学術室A06
YAMA3M0000041	3112908	U/ヒザラガイ/Paciphorella stimpsoni (Gould, 1859)	千葉県	鴨川市	8	良好	学術室A06
YAMA3M0000042	3112909	キタノU/ヒザラガイ/Paciphorella borealis Berry, 1917	北海道	えりも町	2	良好	学術室A06
YAMA3M0000043	3112910	キタノU/ヒザラガイ/Paciphorella borealis Berry, 1917	北海道	えりも町	2	良好	学術室A06
YAMA3M0000044	3092106	トクロウガイ/Spirula spirula (Linnaeus, 1758)	ニュージーランド	ノースランド地方 ホキアング	2	良好	一時収蔵庫
YAMA3M0000045	3052379	オウムガイ/Nautilus pompilius Linnaeus, 1758	山形県		1	良好	動物収蔵庫
YAMA3M0000046	3052380	カマナガイ/Septa (Acanthosepia) lycidas Gray, 1949	山形県	鶴岡市(旧湯浅町)	3	液凍	動物収蔵庫
YAMA3M0000047	3052381	ヒヨウモンコウガイ/Septa (Doratosepia) pardex Sasaki, 1913	山形県	酒田市	1	液凍	動物収蔵庫
YAMA3M0000048	3052382	ヒヨウモンコウガイ/Septa (Doratosepia) pardex Sasaki, 1913	山形県	鶴岡市(旧湯浅町)	1	液凍	動物収蔵庫
YAMA3M0000049	3052383	ヒヨウモンコウガイ/Septa (Doratosepia) pardex Sasaki, 1913	山形県	鶴岡市(旧湯浅町)	1	液凍	動物収蔵庫
YAMA3M0000050	3052384	ヒメコウガイ/Septa (Doratosepia) kobienensis Hoyle, 1885	山形県	鶴岡市(旧湯浅町)	0	液凍	動物収蔵庫
YAMA3M0000051	3052385	ヒメコウガイ/Septa (Doratosepia) kobienensis Hoyle, 1885	山形県	鶴岡市(旧湯浅町)	0	液凍	動物収蔵庫
YAMA3M0000052	3052386	ヒメコウガイ/Septa (Doratosepia) kobienensis Hoyle, 1885	山形県	鶴岡市(旧湯浅町)	3	液凍	動物収蔵庫
YAMA3M0000053	3052387	ヒメコウガイ/Septa (Doratosepia) kobienensis Hoyle, 1885	山形県	鶴岡市(旧湯浅町)	4	液凍	動物収蔵庫
YAMA3M0000054	3052388	ダゴガイ/Septiella birostrata Sasaki, 1918	山形県	鶴岡市(旧湯浅町)	3	液凍	動物収蔵庫
YAMA3M0000055	3052389	ジンドウガイ/Loliolus (Nipponololigo) japonica Hoyle, 1885	山形県	鶴岡市(旧湯浅町)	5	液凍	動物収蔵庫
YAMA3M0000056	3052390	ヤリイガイ/Loligo (Heterololigo) bleekeri Keferstein, 1866	2	液凍	動物収蔵庫		
YAMA3M0000057	3052391	アオイガイ/Argonauta argo Linnaeus, 1758	山形県	鶴岡市(旧湯浅町)	3	液凍	動物収蔵庫
YAMA3M0000058	3052392	アオイガイ/Argonauta argo Linnaeus, 1758	山形県	鶴岡市(旧湯浅町)	1	液凍	動物収蔵庫
YAMA3M0000059	3113548	和名なし(旧オオヘソウム)/Nautilus macromphalus Sowerby, 1849	1	ニューレドニア	1	良好	学術室105
YAMA3M0000060	3113549	オウムガイ/Nautilus pompilius Linnaeus, 1758	1	沖縄県	1	良好	学術室105
YAMA3M0000061	3115881	トクロウガイ/Spirula spirula (Linnaeus, 1758)	1	アメリカ合衆国 フロリダ州 パームビーチ郡	1	良好	学術室H10
YAMA3M0000062	3115882	トクロウガイ/Spirula spirula (Linnaeus, 1758)	1	スペイン カナリア諸島州	9	良好	学術室H10
YAMA3M0000063	3115884	タコブネ/Argonauta hians (Lightfoot, 1786)	1	神奈川県 三浦市	1	良好	学術室H10
YAMA3M0000064	3115885	タコブネ/Argonauta bottgeri Maltzan, 1868	1	東京都 大島町	1	良好	学術室H10
YAMA3M0000065	3115886	アオイガイ/Argonauta argo Linnaeus, 1758	1	東京都 大島町	1	良好	学術室H10
YAMA3M0000066	3115887	コウガイ/Septa (Platysepia) esculenta Hoyle, 1885	1	東京都 大島町	3	良好	学術室H10
YAMA3M0000067	3115888	シンドウガイ/Septa (Doratosepia) petersenii Appellöf, 1886	1	東京都 大島町	1	良好	学術室H10
YAMA3M0000068	3116027	ジンドウガイ/Loliolus (Nipponololigo) japonica Hoyle, 1885	1	2	液凍	動物収蔵庫	
YAMA3M0000069	3116031	ダゴガイ/Septiella birostrata Sasaki, 1918	1	山形県 鶴岡市(旧湯浅町)	2	液凍	動物収蔵庫
YAMA3M0000070	3092366	和名なし(旧ワケツツガイ)/Dentalium (Dentalium) elephantinum Linnaeus, 1758	1	フィリピン 中部ビサヤ地方 セブ州	1	良好	一時収蔵庫
YAMA3M0000071	3092367	ミスエロツツガイ/Dentalium aprimum Linnaeus, 1766	1	沖縄県 石垣市	1	良好	一時収蔵庫
YAMA3M0000072	3092368	和名なし(旧ヤマトツツガイ)/Dentalium (Paradentalium) octangulatum Donovan, 1804	1	神奈川県 鎌倉市	15	良好	一時収蔵庫
YAMA3M0000073	3092369	和名なし(旧トクサンガイ)/Pseudodentalium imae Kuruda & Habe, 1963	2	東京都 葛飾区	2	良好	一時収蔵庫
YAMA3M0000074	3092370	ニギキツツガイ/Pseudodentalium formosum (A. Adams & Reeve, 1850)	2	東京都 墨田区	2	良好	一時収蔵庫
YAMA3M0000075	3092371	ワタルツツガイ/Pseudodentalium vernerdi (Sowerby, 1860)	2	和歌山県 牟婁町	2	良好	一時収蔵庫
YAMA3M0000076	3092372	ヒラツツガイ/Compressidentalium hungerfordi (Pilsbry & Sharp, 1897)	2	高知県	2	良好	一時収蔵庫
YAMA3M0000077	3092373	ミカキマルツツガイ/Antalis tibanus (Nomura, 1940)	2	福岡県 福津市	2	良好	一時収蔵庫

動物分類群ラベルの入れ込み作業は、以下のよう
 おこなうと効率的である。テグスで 100 個ずつ連番に
 したラベルのテグスだまの、大きいほうの番号側のテ
 グスを切る。そのテグスをダブルクリップの閉じたレ
 バーのカーブ部分にクリンチノットで結び、ラベルを
 入れたチャック袋が落ちないようにする。若いほうの
 番号側のテグスだまは切り離さないで、そのままにし

それぞれの動物資料へのラベルの入れ込み作業を確
 実なものにすることを目標に、動物資料データベース
 (以下、DB)チェック用シートを作成し、印刷した。この
 シートは、動物資料 DB で使われている(S-Net への提
 供項目を含めた) 60 項目の中からピックアップした、|
 チェック箇所(✓) | 新登録番号 | 旧登録番号 | 和名/
 過去の同定結果 | 国 | 都道府県 | 郡・市区町村 | 個体数
 | 標本状態 | 収蔵場所 | で構成されている。いずれも、
 どこに資料が存在するのかを瞬時に見極めるために、
 必要最小限の項目を挙げてある(表2)。

ておき、ラベルを入れ込むときに1個ずつ外して行く。

3 結果と考察

封入したラベルは、両生綱 244 件(YAMA3Am000001
 ~000244)、環形動物門 2 件(YAMA3An000001~000002)、
 ホヤ綱 7 件(YAMA3As000001~000007)、鳥綱 3,262 件
 (YAMA3Av000001~003262)、腕足動物門 23 件(YAMA3

Bc000001～000023)、刺胞動物門 20 件(YAMA3Cn000001～000020)、甲殻亜門 248 件(YAMA3Cr000001～000248)、棘皮動物門 110 件(YAMA3Ec000001～000020)、苔虫動物門 1 件(YAMA3Ep000001)、哺乳綱 408 件(YAMA3Ma000001～000408)、頭足綱/掘足綱/多板綱 152 件(YAMA3Mo000001～000152)、多足亜門 1 件(YAMA3Mr000001)、旧魚綱 1,292 件(YAMA3Pi000001～001292)、海綿動物門 1 件(YAMA3Po000001)、爬虫綱 83 件(YAMA3Re000001～000083)、星口動物門 1 件(YAMA3Si000001)の合計 5,855 件である。この中で、環形動物門 2 件、ホヤ綱 7 件、苔虫動物門 1 件、多足亜門 1 件、海

綿動物門 1 件、星口動物門 1 件をテグスで一括りにした。端数は、二枚貝綱 6 件(YAMA3Bi000001～000003、YAMA3Bi001705～001707)、腹足綱 1 件(YAMA3Ga000001)、チョウ目 3 件(YAMA3Le017311～017313)で、これもテグスで一括りにした(合計 10 件)。今回のラベル作成に、まったく含まれないのは、昆虫綱(YAMA3In)である。2022 年度は、これ以上の予算の割り当てが期待できないので、優先順位の低い動物分類群の資料(e.g. 一時収蔵庫に多数の未整理資料、現行の分類群ラベルの欠如)へのラベルの入れ込み作業は、2023 年度(2023 年 4 月)以降になる見込みである(表 3)。

表 3. 動物分類群ラベル(10,256 ページ)と動物資料 DB チェック用シート(794 ページ)の印刷次第

No	分類群(門)	分類群(綱)	分類群の名称	標本件数	ラベルのページ番号	印刷・封入済	チェック用シート番号	印刷済	優先順位*
1	脊索動物門	両生綱	Amphibia (綱)	244	1-59	○	1-5	○	2
2	環形動物門	—	Annelida (門)	2	60	○	5	○	13
3	脊索動物門	ホヤ綱	Ascidacea (綱)	7	60-62	○	5	○	14
4	脊索動物門	鳥綱	Aves (綱)	3,262	62-866	○	5-68	○	15
5	腕足動物門	—	Brachiopoda (門)	23	866-872	○	68-69	○	6
6	軟体動物門	二枚貝綱	Bivalvia (綱)	1,707	872-1,293	Part	69-101	Part	17
7	刺胞動物門	—	Cnidaria (門)	20	1,293-1,298	○	101-102	○	7
8	節足動物門	軟甲綱/顎脚綱/鰓脚綱	Crustacea (甲殻亜門)	248	1,298-1,357	○	102-107	○	8
9	棘皮動物門	ヒトデ綱/クモヒトデ綱/ウニ綱/ナマコ綱	Echinodermata (門)	110	1,358-1,385	○	107-109	○	9
10	苔虫動物門	—	Bryozoa (門)	1	1,385	○	109	○	10
11	軟体動物門	腹足綱	Gastropoda (綱)	7,902	1,385-3,336	Part	109-261	Part	18
12	節足動物門	昆虫綱(チョウ目以外)	Insecta (綱)	8,447	3,337-5,445	—	261-424	—	19
13	節足動物門	昆虫綱(チョウ目)	Lepidoptera (目)	17,313	5,445-9,773	Part	424-757	Part	20
14	脊索動物門	哺乳綱	Mammalia (綱)	408	9,773-9,875	○	757-765	○	1
15	軟体動物門	頭足綱/掘足綱/多板綱	Mollusca (門)	152	9,875-9,912	○	765-768	○	11
16	節足動物門	ムカゲ綱/ヤスデ綱	Myriapoda (多足亜門)	1	9,912	○	768	○	12
17	脊索動物門	条鰭綱/軟骨魚綱/頭甲綱	Pisces (旧魚綱)	1,292	9,912-10,235	○	768-793	○	16
18	海綿動物門	—	Porifera (門)	1	10,235	○	793	○	4
19	脊索動物門	爬虫綱	Reptilia (綱)	83	10,236-10,256	○	793-794	○	3
20	星口動物門	—	Sipuncula (門)	1	10,256	○	794	○	5

*2022 年度は、優先順位の 16 までを目標にしたが、他の作業との兼ね合いや動物収蔵庫への入室制限などによって、進捗状況は遅延の一途をたどった。2022 年度は、これ以上の予算の割り当てが期待できないので、優先順位の 17 以降で優先順位の低い動物分類群の資料(e.g. 一時収蔵庫に多数の未整理資料、現行の分類群ラベルの欠如)へのラベルの入れ込み作業は、2023 年度以降になる見込み

山形県立博物館の動物資料は、動物収蔵庫に収蔵されているだけでなく、学習室や一時収蔵庫、更には第一展示室の展示ケースや森林パノラマに展示中のものも存在する(表 2 を参照)。標本状態が剥製や巢(卵)の、鳥類資料(Av)の多くは、動物収蔵庫の壁際に設置された木製の棚の引き出しごとに整理され、DB の収蔵場所

という項目には棚の番号が記されている(e.g. A5, C1, H9, P3)。標本状態が貝殻の、二枚貝類資料(Bi)の大部分や腹足類資料(Ga)の一部は、学習室の壁際に設置された木製の棚の引き出しごとに整理され、これも DB の収蔵場所という項目には学習室と棚の番号が記されている(e.g. 学習室 A04, 学習室 B07, 学習室 F02, 学習室

G08)。しかし、他の資料には動物収蔵庫や一時収蔵庫とだけ記されていて、収蔵庫のどこに収蔵されているのか、はっきりしないものが少なくない。展示や貸し出し、外部からの問い合わせで移動させた資料が、元の収蔵場所に戻されていないケースも多々ある。

第一展示室に展示中の動物資料のラベルも古いまま、これにも刷新作業が必要となって来るが、著者が作成した動物分類群ラベルをそのまま交換するわけにも行かない。特に昆虫標本のラベルは小さく、注意が必要である(e.g. 柿添・丸山 2021, 丸山 2014)。著者作成のラベルを入れ込むのなら、展示ケースの下などの見えないところに設置する必要がある。第一展示室の動物資料だけラベルをまとめて、別の場所に置いておく必要があるのかもしれない。過去には、第一展示室の動物資料の簡易的な刷新用ラベルが、ワードの差し込み印刷機能を使って作成されたことがある(従来のラベルと情報量は同じだが、著者が最新の学名と和名に変更したもので、学芸課のインクジェットプリンタが使用され、青っぽい縁取りのラベルが印刷されていた)。しかし、全部が完成することなく、または印刷したラベルを部分的にでも交換することなく、有耶無耶になってしまったようで、作成したと思われる簡易ラベルの所在も不明なままである。著者が第一展示室で確認した限りでは、簡易ラベルが部分的にでも交換された形跡はなく、ここで著者が作業手順を記述している動物分類群ラベルの刷新作業とは、別の案件として取り扱われるべき性質のものである。

引用文献

- 羽角正人 (2020) 山形県立博物館収蔵資料・動物データベースの更新作業. 山形県立博物館研究報告 38: 3-42
- 羽角正人 (2021) 山形県立博物館動物資料データベース更新のための S-Net 登録データの修正. 山形県立博物館研究報告 39: 17-24
- 羽角正人 (2022a) 山形県立博物館動物資料データベースからの分類群ラベルの作成. 山形県立博物館研究報告 40: 17-22

4 将来の展望と課題

著者の5年の任期が2023年3月までなので、後任者は、これまで著者が山形県立博物館研究報告に執筆した報告書(羽角 2020, 2021, 2022a, 2022b, 羽角・本間 2019, 本稿)、および学芸課のデータベース専用 PC に著者が残したフォルダ「動物 DB(2021-2022)」内の3つのサブフォルダ「収蔵資料 DB(動物)全分類群, 収蔵資料 DB(動物)ファイルメーカー用, 資料ラベル(雛形)」にある複数のファイル、および「2023 以降 S-Net に登録可能なデータ 1,000 件.xlsx」というファイルを精査して、業務内容を把握して欲しい(それぞれ、誰が着任しても業務継続が可能ないように作成してある)。以上の業務内容は、山形県立博物館動物部門の前専門学芸員と著者との間の協議で成立した、著者の後任者に引き継がれるべき性質の最優先事項で、館としての仕事である(この場合、動物部門での採用と予算の獲得が必須)。

羽角・本間(2019)は「2014 年度には昆虫綱チョウ目 17,313 点中の 14,923 点と爬虫綱 83 点中の 77 点を合わせた 15,000 点が、S-Net/GBIF に登録されている」と記述した(点数は件数の誤り: 羽角 2021)。これはクモ類の分類の専門家であった(故)吉田哉学芸員が登録した案件だが、Global Biodiversity Information Facility (GBIF) では、Lepidopterous specimens と Reptile specimens が別人の名前で登録され、多方面で引用されている。登録者名が変更された経緯は不明だが、本来なら Yoshida H として登録すべき性質の案件であり、故人の業績を正当に評価するシステム作りが今後の課題である。

- 羽角正人 (2022b) 山形県立博物館動物標本データの S-Net 登録件数の内訳. 山形県立博物館研究報告 40: 23-24
- 羽角正人・本間正明 (2019) 山形県立博物館動物資料データベースと S-Net/GBIF への登録. 山形県立博物館研究報告 37: 7-56
- 柿添翔太郎・丸山宗利 (2021) 昆虫標本におけるラベルの作り方. 九州大学総合研究博物館研究報告 18: 65-73
- 丸山宗利 (2014) 小型甲虫の台紙貼り標本とラベルの基本的な作り方と注意点. 九州大学総合研究博物館研究報告 12: 21-32